

社会福祉法人 香南会 行動計画

より一層、女性活躍を推進できるような雇用環境の整備を行うため、次のように行動を策定する。

1 2023年4月1日～2028年3月31日

2 本会の課題

男女間において、育児休業取得で大きな差があり、男性職員のワーク・ライフ・バランスが進まない。また、法人全体の約27%がパート職員となっている。

3 目標

パート職員の積極的な臨時職員の転換を進める。

男性の育児休業取得率を50%以上とする。

4 取組内容と実施時期

2023年4月～

- ・利用可能な両立支援制度を取得しやすい環境整備のため、全職員に対し、法人内ネットワークで周知を行う。
- ・妊娠中の女性職員や配偶者が妊娠中の男性職員に対し、両立支援制度に関する情報提供を行う。

女性に関する情報公表(2023年度)

①採用した労働者に占める女性職員の割合

女性職員	正規職員	44名÷71名×100%=62.0%
	非正規職員	24名÷44名×100%=54.5%
	職員合計	68名÷115名×100%=59.1%

②管理職に占める女性労働者の割合

60名÷106名×100%=56.6%

②男女の平均勤続年数の差異

	正規職員	非正規職員
女性の平均勤続年数	7.8年	6.6年
男性の平均勤続年数	7.6年	4.7年
男女の平均勤続年数の差異	103%	140%

③男性職員及び女性職員の育児休業取得率について

(男性) 3名÷10名×100%=30%

(女性) 17名÷17名×100%=100%

④男女の賃金の差異について

	男性職員平均	女性平均	差異
正規	3,989,780円	3,830,826円	96.0%
非正規	1,490,477円	1,861,707円	124.9%
全体	3,275,693円	3,254,274円	99.4%